

東アジア地域言語学科語学検定試験の受検費用補助について

令和4年4月28日

担当 大澤 武司

1. 語学検定試験の受検費用補助について

新型コロナウイルス感染拡大下における本学科在学生の語学学修を支援するため、指定する語学検定試験について、受検料の一部として図書カード(2000円分)の支給という形で補助する。

2. 対象となる試験(本年度)

中国語:中国語検定/漢語水平考試[HSK]

韓国語:韓国語能力試験[TOPIK]/ハングル能力検定

【2022年度の補助対象となる試験日程】

2022年2月1日以降に実施された「対象となる試験」

*2022年2月・3月実施分(2020年度分)を含む。この場合、領収書の日付は2021年度中のものでも申請可能。なお、2022年度の補助対象となる試験日程は、2022年1月末日までに申請ができ、なおかつ領収書の取得が可能な試験を対象とする。

※なお、2022年2月1日以前に実施された試験については申請前に個別に相談すること。

【前期申請締め切り】 2022年7月末日(当日消印有効)

【後期申請締め切り】 2023年1月末日(当日消印有効)

3. 申請の際の注意

①「申請書」に必要事項を記入の上、「領収書の現物」あるいは「支払い証明書」を添付し、さらに受領確認に署名・捺印したうえで、**指定の締め切り(当日消印有効)までに郵送で申し込むこと。**

(郵送先) 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈 8-19-1 福岡大学人文学部 大澤武司研究室

*** 必ず封筒に「受検費用補助申請書在中」と明記のこと**

②いずれの検定も主催団体より事後の「領収書」あるいは「支払い証明書」の発行が可能であるため(各団体にメールあるいは電話で問い合わせること)、**手もとに領収書がない場合も必ず「領収書の現物」あるいは「支払い証明書の現物」を取得の上、添付して申請すること。**

* 韓国語能力試験は主催団体発行の「PDF領収書」でも申請可。

* その他の団体の「公印」入りの「PDF領収書・支払い証明書」も事前に相談のこと。

③「2022年度の補助対象となる試験日程」に該当する場合、複数回の受検についてもそれぞれ補助を申請することを認めるが、予算の上限枠があるため、先着順で受付を行い、補助の支給は締め切り後の処理手続きを経て一括して行う。**予算の上限枠に達した時点で、支給は打ち切りとする。**

④補助の支給は、原則、**【前期申請締め切り】分については、後期の授業開始後、大学で本人に対して直接行うこととする。また、【後期申請締め切り】分については、2023年度の新学期開始後、大学に登校した際、授業時間などにそれぞれ配布する。**なお、2023年3月に卒業する4年次生については、郵送での受領を希望する場合には対応するが、万が一、郵送事故が発生するなどし、図書カードが手元に届かなかった場合でも、「図書カードの発送を以て補助の支給に代える」旨、承諾したうえで郵送による受領を申請すること。

*** 問い合わせ先 osawatakeshi@fukuoka-u.ac.jp(大澤)まで**

語学検定受検費用補助申請書

私は、以下の語学試験を受検しましたので、費用の補助を申請いたします。

申請年月日 年 月 日

学籍番号

氏名

【補助申請対象試験】 * 全員必ず記入すること

	試験の名称	試験日	受検した級	試験結果(判明している場合)
①		月 日	級	合格・不合格 スコア 点
②		月 日	級	合格・不合格 スコア 点
③		月 日	級	合格・不合格 スコア 点
④		月 日	級	合格・不合格 スコア 点
⑤		月 日	級	合格・不合格 スコア 点

*必ずそれぞれの「領収書の現物」あるいは「支払い証明書の現物」を添付すること

【受領方法】 * 在学生は原則、手渡しで支給

郵送を希望 * 2021年度後期分(2022年1月末締め切り分の卒業年次生のみ対応)

* 郵送を希望する場合、万が一の郵便事故などによる不着の場合もありうることを了承のうえで希望すること(重要)

* 郵送を希望する場合には、以下に住所を記入すること

〒

【受領確認】 * 全員必ず記入すること

私は、受検費用補助として、図書カード(2000円分)を 枚、確かに受領いたしました。

令和 年 月 日

(申請日の日付を記入)

学籍番号

氏 名 印

(自署の場合は捺印不要)

.....

教員記入欄

受付日時 年 月 日 午前・午後 時 分

申請番号

領収書の提出 あり なし 受検資格 あり なし